

新規牧草用ラップフィルムの効果確認試験

JA本別町

(株)幕内牧場



慣行品①



慣行品②



試験品①



試験品②



試験品③



上試験品 下慣行品

試験目的

新規国産ラップフィルムの効果確認

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

新規国産ラップフィルム(0.025mm×600cm×1500m) 黒 2本

慣行資材

ビッピー(0.025mm×600cm×1500m) 黒

資材使用期間

7月17日～11月末日

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品よりも試験品の方がフィルムが伸びる感覚があったが、問題なくラッピング出来た。

SPM社のダブル巻きの機械で、3重巻き(19回転)でラッピングし、ラップ2本で慣行品、試験品共に約24ロール作成できた。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 慣行品よりも低コストである点

【問題点】: 慣行品が高品質輸入ラップであるため、糊の強度や密閉性が劣る点

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

試験品は、1ロールを巻き終わりフィルムを切断する際に、フィルムが若干切れにくかった。

またラップを巻く際のバリバリ音が慣行品よりも静かであった。これは糊の強度が慣行品よりも劣っているためではないか。

巻き終わりのフィルムを触った際に慣行品の方がベタベタしていた。

ラッピング時に、慣行品と異なる感覚があったが、いづれも問題となる程ではなく実用可能であると感じた。

モニター感想

慣行品と異なる感覚があったが、問題なくラッピング出来た。

ロール巻き終わり時の切れが悪く、残り部分が長くなったが使用できない程度ではない。

ラップしたロールはこれから給餌予定のため、中身の状態は不明。

JA担当者の感想(各務主査)

慣行品の高品質輸入ラップ(ビッピー)と比べると、ロール時のバリバリ音が小さかった。また、ロール巻き終わり時のフィルムの切れが悪く、残った部分が長いと感じた。

ロールを開けて給餌する際の品質が、慣行品とどう違うかを後日確認して実用性を判断したい。

今後の使用について

継続して使用したい。